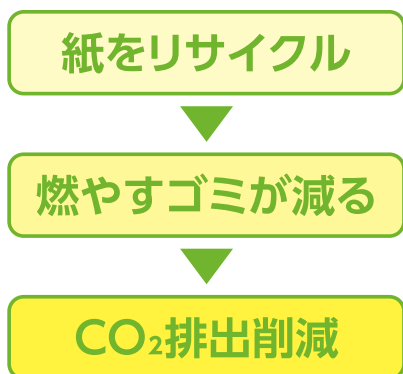


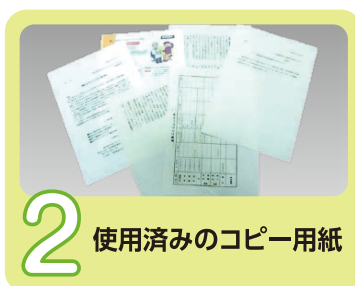
ただ捨てるのはもったいない! 「雑がみ」は資源物です



リサイクル回収される古紙といえ、新聞、雑誌、段ボールの3つが頭に浮かぶと思いますが、もう一つ身近な紙資源あります。それが雑がみです。雑がみはもやせるごみの中の紙類の27.3%を占めますが、新聞、雑誌、段ボールと比べると極端にリサイクル回収量が少ないのが現状です。雑がみをリサイクルすることで燃やすごみが減り、結果的に二酸化炭素排出量を減らすことにつながります。資源を有効に再利用しながら、ゼロカーボンの実現にも貢献できる活動にご協力をお願いします。

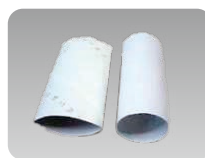
みんなが家庭ごみの減量化に取り組みましょう

身近なところからリサイクル! 代表的な雑がみの例



上記以外の雑がみの例

「雑がみ」とは、新聞・雑誌・段ボール・飲料用紙パック以外の紙・板紙のことです。雑がみ回収では、リサイクルできない紙類と異物の混入が多いので注意が必要です。
※ファイル・バインダー・カレンダーなどの金具やダイレクトメール等のビニール包装は取り外しましょう。



※画像は公益財団法人古紙再生促進センター提供

どうやって出すの?

紙袋にまとめていて、中身がこぼれないように、紙ひもでしばってください。地区や子ども会で行う**集団資源回収**を利用するか、「かねやまハウス」に直接お持ちください。



以下のものはリサイクルできません。可燃ごみとして処分してください。

- 防水加工紙(紙皿、カップラーメン、ダンボール)
- 汚れやにおいのついているもの
- 感熱紙(レシートなど)
- カーボン紙(複写伝票)
- 写真用紙
- 和紙・障子紙
- キッチンペーパーなど

令和5年度の
1人1日当たりの
家庭ごみの排出量

538g



令和10年度の
1人1日当たりの
家庭ごみの排出量

目標 **500g**